

外国人客にも「はしご酒」

チケットで言葉の壁超える

外国人観光客向けに初開催されているはしご酒イベントをPRする観光案内所の職員ら



27日からの中華圏の「春節（旧正月）休暇」や、2月のさつばら雪まつりに合わせ、外国人観光客向けのはしご酒イベントが札幌・狸小路商店街で開かれている。小樽商大の学生らがつくる、まちづくり会社が毎夏行っていたが、外国人客にも狸小路の店に親しんでもらおうと、JT B北海道の協力を得て、初めて冬に企画した。

イベントは「NOMIPON（ノミポン）!!」で、今月21日から2月26日まで開かれている。同大のまちづくり会社「ivacs（アイ・バックス）」が2009年に始め、ここ数年は千人以上が集

狸小路 春節で樽商大生とJT B企画

まる人気イベントに成長した。今回は3枚つり39900円のチケットを使えば、狸小路や周辺の参加店32店から3店を選び、お酒や自慢の料理が味わえる。

北海道の食への関心が高い外国人客向けにメニューを豪華にするため、夏より料金設定を高くした。お酒とおつまみのセットのほか、もつ鍋やスープカレー、馬肉のしゃぶしゃぶなど、ボリュームを売りにする店も多い。企画に携わる小樽商大3年の小池百花さん（21）は「買い物の後はスキップで食事をする外国人が多いと聞く。狸小路の飲食店の個性も再発見してほしい」と呼びかける。

限定2千円で、JT Bが狸小路5丁目を運営する観光案内所「北海道ツーリストインフォメーションセンター」で2月26日まで販売する。日本人も購入できる。JT Bの担当者は「チケットで提供されるメニューが決まっているので、言葉が通じなくても安心。多くの外国人客に利用してほしい」と話す。